

大学院の魅力

理系の研究目的は、発見や発明をすることにあります。研究の実践は、それに携わる者に純粋にさまざまな驚きと喜びを与えるとともに、新しい知識や新たな技術を創出することで、私たち人類の発展につながっていくという魅力があります。

教育・研究の現場として、この活動の中核を担っているのが「大学院」です。ここで培われる「研究力」は、今日、理系企業や国のコアの部門で働く人材に強く求められています。魅力ある研究を行い、みなさんのスキルを磨き上げ、研究成果とともに研究力を身に付けた人材を社会に還元する。法政大学大学院での実践的な研究経験は、将来、皆さんが活躍する舞台での活動の基盤となるでしょう。

大学院進学

5つの メリツト

1 基礎学力・ 知的体力の向上

大学院での講義および研究を通して、基礎科目・関連科目の本質的な理解や創造性が育成され、多角的な視野から専門分野の知識・理解が深まり、技術者・研究者としての資質が向上します。

2 研究に関する 専門的および グローバルな体験

大学院における研究成果の専門・関連分野での国際会議、シンポジウムおよび交流会等でのポスターセッションやプレゼンテーション発表により、国際的な研究交流の体験が可能です。

3 研究成果の発表および 修士・博士論文執筆を 通した、研究および キャリアスキルの向上

論文投稿の準備や修士・博士論文作成により、研究力や問題点の把握能力が育成され、また、英語レベル、プレゼンテーション能力やリーダーシップ能力の向上により、就業スキルがアップします。

5 職業選択 自由度の向上

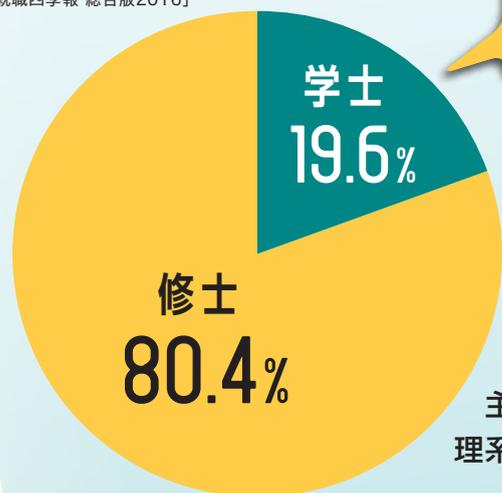
大学院での研究や講義による経験を活かすことにより、研究職や技術職へのキャリアパスのチャンスが広がり、専門分野を含む関連企業、各種研究所等、就職の幅が広がります。

4 横断的な学問領域の 把握による エンジニア総合力向上

これからの持続可能で環境にやさしい国際的なエンジニアには、専門分野のみならず関連分野の知識や学問領域での実践的経験が必要であり、大学院での学びは必須です。

Ref. 東洋経済新報社
「就職四季報 総合版2016」

就職データ



主要企業における理系学生採用状況は、修士の学生が圧倒的に多く採用されているのが現状です。将来、主要企業の技術職として社会での活躍を目指す方は、大学院への進学を視野に入れるとよいでしょう。

主要メーカー・情報系企業の
理系学生採用内訳 (過去3年)

法政大学大学院 理工系修士課程修了者 主要企業就職実績 (過去3年)

● 建設

清水建設、大成建設、日揮

● 印刷・化学

大日本印刷、凸版印刷、ライオン、三井化学、三菱化学、信越化学工業、出光興産、ブリヂストン

● 製薬

アース製薬、小林製薬

● 食品

ヤマザキナビスコ、味の素エンジニアリング、味の素冷凍食品

● 電気・電子

リコー、オリンパス、キヤノン、コニカミノルタ、ニコン、TDK、京セラ、村田製作所、カシオ計算機、ソニー、パナソニック、三菱電機、東芝、日立製作所、NEC、富士通、東京電力

● 重機械・自動車

IHI、いすゞ自動車、スズキ、トヨタ自動車、本田技研工業、マツダ、三菱自動車工業、三菱重工業、川崎重工業、日産自動車、日野自動車、富士重工業

● アミューズメント

バンダイ、任天堂

● 情報・通信

KDDI、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、ヤフー、楽天、日立システムズ、日立ソリューションズ

● 鉄道

京王電鉄、東武鉄道、JR東日本、JR東海

● 金融

三菱東京UFJ銀行、日本銀行

Data

Support

大学院生への特色あるサポート

法政大学大学院では学費の大幅な値下げ(2010年度～)をはじめ、奨学金やさまざまな研究助成制度を導入することで大学院生の研究活動を経済面、制度面から支援しています。

実際の教育現場でアシスタントを務めながら報酬を得るT・A(ティーチング・アシスタント)制度は、将来教育・研究に携わる上で良い経験となるでしょう。

また、近年では全学的に教育のグローバル化を推進しており、大学院においても海外学会への参加、研究活動のために必要な海外現地調査、情報収集のための費用を補助する「海外における研究活動補助制度」や、英語をはじめ諸外国語で作成した論文等を当該言語の専門家に校閲してもらう費用を補助する「諸外国語による論文等校閲補助制度」等により、みなさんの国際的な活動をサポートしています。